


第2章 ビジョンの目標と進むべき方向性

1. 数値目標

本市の観光客数の増加による交流人口の拡大を図るため、ビジョン策定から10年後の2022年の本市の目標を以下のとおりとする。



観光客数を現在の600万人から **1,000万人** に引き上げる。

宿泊客数を現在の70万人から **100万人** に引き上げる。

◆ 本市が宿泊客数 100 万人のハードルを突破するための考察 ◆

5,330 人(下関市の宿泊定員) × 365 日 = 1,945,450 人(下関市の年間宿泊定員)

1,000,000 人 ÷ 1,945,450 人 = 0.51401……

→ 目標 100 万人達成のためには 定員稼働率 **51.5%** が必要。

参考) 定員稼働率 (平成 22 年 1 月~12 月)

全国平均 : 45.2% 山口県平均 : 39.0% 下関市 : 35.3%

(資料 : 平成 22 年宿泊旅行統計調査/観光庁、平成 22 年観光客数調査/下関市)

平成 22 年において、定員稼働率が 50% を上回るのは

中四国、九州地方では、福岡県 54.3%、沖縄県 53.2%、広島県 50.4%。

ただし、福岡県、広島県はビジネス客の割合が高い。

X 年後、下関市の定員稼働率が山口県平均に到達

$1,945,450 \text{ 人} \times 39.0\% \doteq 758,726 \text{ 人}$

10 年後、定員稼働率が全国平均に到達

$1,945,450 \text{ 人} \times 45.2\% \doteq 879,344 \text{ 人}$ —— ①

さらに、新ホテル等宿泊施設による宿泊定員の増加効果

$600 \text{ 人(宿泊定員)} \times 365 \text{ 日} \times 60\% = 131,400 \text{ 人}$ —— ②

10 年後の宿泊客数 (① + ②) = **1,010,744 人**



☆☆☆ 目標達成のための費用対効果 ☆☆☆

年間宿泊客数が 30 万人増加すると

(一人当たりの旅行消費額) 18,788 円 / 人 × 30 万人 ≒ **56 億円** の新たな消費が生まれる。

例えば、積極的な観光振興施策のために、毎年5千万円の投資を 10 年間実施すると

5千万円 × 10 年間 = **5億円** の費用となる。

【効果】

【費用】

すなわち **56 億円** > **5億円**

参考) 下関市内宿泊客一人当たりの旅行消費額 (下関市内で使った費用) ⇒ 18,788 円

(資料: 平成 23 年度観光動態調査 / 下関市)

※ 数値目標について (解説)

観光客による交流人口 1,000 万人、宿泊客数 100 万人は、本市が真の観光交流都市を目指すための究極の目標です。特に観光客数 1,000 万人は、現在の観光客数やその内容を冷静に判断すれば、これは非常に到達が難しい数字であります。

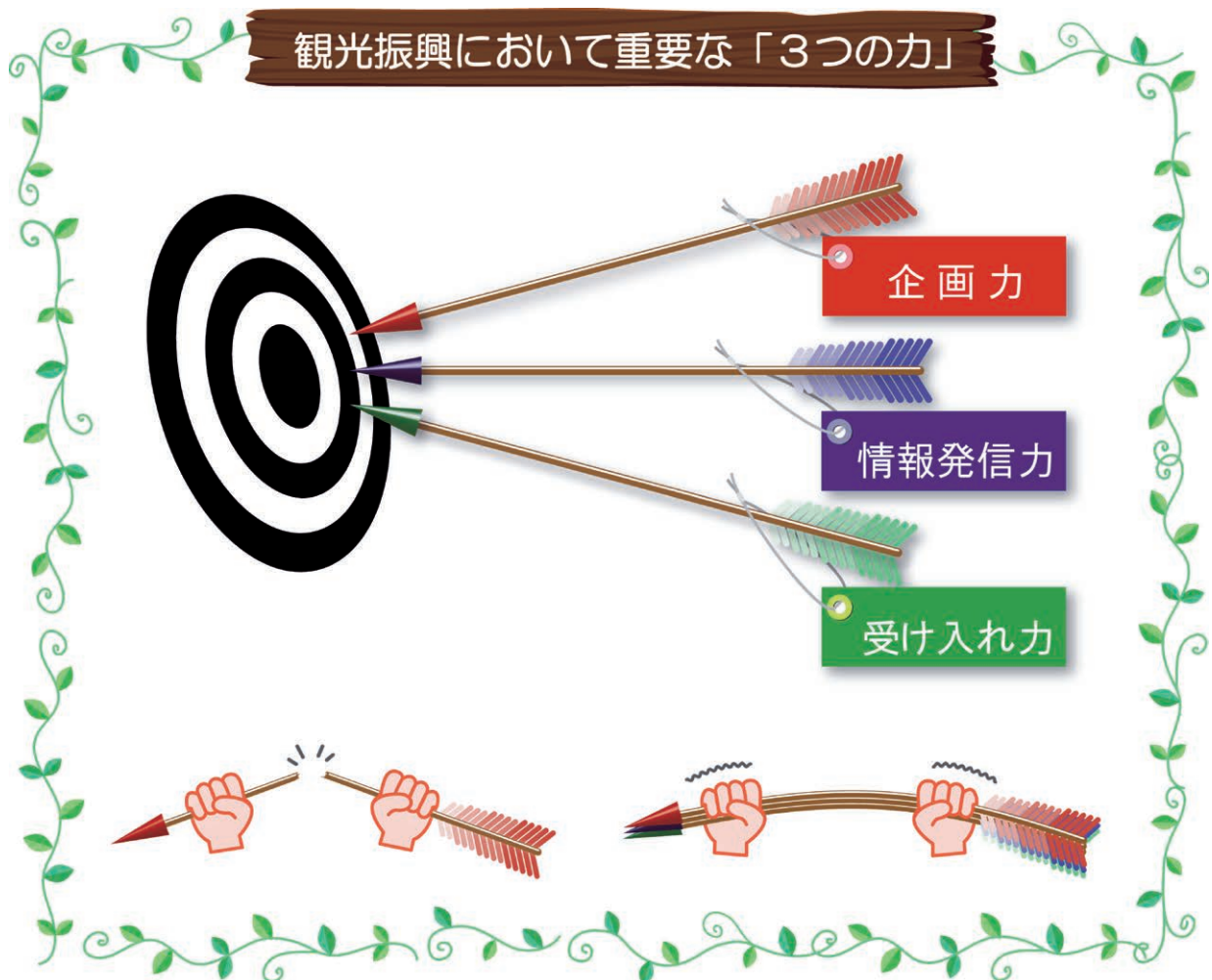
しかし、行政はもとより、市民や観光関連業者が協働して観光振興に取り組むための戦略を構築するためにも、2022 年の観光客数による交流人口 1,000 万人、宿泊客数 100 万人は、市全体で元気が出る目標、キャッチフレーズでもありと考えます。

実現が大変困難な数値目標ではありますが、観光産業を本市の基幹産業に押し上げるためにも、常に上昇志向を持ち、本ビジョンに沿った正しい戦略のもとで一步でも最終目標に近づけていくための取り組み、努力の継続こそが大切であると考えます。

2. 進むべき方向性、目指す観光都市の姿

観光振興において最も重要なものは「企画力」「情報発信力」「ハード・ソフト両面での受け入れ力」の3つの力である。下関らしさを活かして国内外の観光客の心をつかむ最高の企画を立案すること、そしてその企画を適宜適切に最良のネットワークで発信すること、加えて観光施設や宿泊施設等ハード面での受入態勢の充実、そして何より受け入れる『人』、それは宿泊施設や飲食店、土産品店の従業員等の観光関連業者はもちろん、市民全員が最上のおもてなしの心を発揮して国内外の観光客を迎えることが大切である。

真の「観光交流都市 下関」実現に向けて、この3つの力を磨き続けていくとともに、右の6項目を備えた理想の観光都市づくりに邁進していく。



「観光交流都市 下関市」 理想の姿

にぎわい観光都市

一年 365 日オンシーズンのにぎわいあふれる観光都市づくり

滞在型観光充実都市

従来の通過型観光客を滞在型観光客に向かわせる魅力を備えた観光都市づくり

日帰り型観光充実都市

本市の地理的条件から切り離せない近隣の北九州市や福岡市等、日帰り圏内の観光客向けに充実した観光都市づくり

コンベンション誘致充実都市

コンベンションを誘致できる実力、実績を備えた観光都市づくり

観光ネットワーク充実都市

観光関連団体、企業のネットワークはもちろん、市民全体を含めた広い意味での観光ネットワークが充実している観光都市づくり

観光客満足度 No.1 都市

本市を訪れる観光客の満足度が全国トップレベルの観光都市づくり